

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

2020年 6月 30日
住所 茅野市宮川 5893番地
企業名 有限会社 八剣技研
代表者 清水 尚哉

当社は、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

弊社の経営理念である「我々と我々に関わる全ての人々に愛され続ける企業」の実現は、弊社単独での達成は成し得ず、地域社会の発展、環境の保全、堅実な経済活動のどれも欠く事が出来ない要素である。これらはSDGsの達成と目的を同じくするものであり、一人一人が社会の一員として傍観者で無く、主役であることを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより、SDGsの達成に貢献します。

3側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>登録年月日:</small>
①環境 ②社会 ③経済	独自技術により、第一次産業分野における、社会課題を解決する製品の開発・販売を行います。	特許の出願 売上げ 30%UP	
環境 ①社会 ③経済	全員が健康で豊かな生活が送れる様、健康経営に取り組みます。	健康経営優良法人の取得	
①環境 社会 ③経済	業務の効率化、不良品の削減を行い無駄な時間は使わない、無用な資源を浪費しない。	社内標準納期 30%短縮する。不良品割合を現行の50%とする。	

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年1回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32	□	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	商工会議所や地域の各種団体等と連携し、地元の小学生や修学旅行生の職場体験を実施、また、移住予定者へも見学会を開催し地域と密接に関わっている。				4						9		11	12		14	15		17		
33	□	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	定期的に会社周辺の清掃活動を行っている。地域の学生と積極的に交流している。地域の行事にも積極的に参画している。				4									11			14	15		17	
34	□	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域企業の製品を優先的に採用している。MadeinJapanの自社製品を海外に輸出している。地域企業と連携し地域の力を活用した事業を進めている。									8	9		11	12	13						
35	□	【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念・経営方針を社内で共有している。年1回の経営方針発表会にて理念・目標をスタッフに説明し共有している。										8	9								17	
36	□	【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	就業規則や環境経営方針に法令遵守を明文化している。【予定】法令遵守についての研修を行う。																			16	
37	□	【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	EA21の組織にて担当者を明確にし、組織図にて各担当部署が整備されている。																			16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	適宜ステークホルダーと対話、情報収集し自らが社会に及ぼす影響を把握し適切に対応している。																			16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	開発段階において、社内、顧客も交えてリスクの洗い出しを行い、適切な対策を講じている。																			16	
40	□	【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSRの考えに基づき経営目標を策定し、経営方針発表会他にて適宜全スタッフと考えを共有し責任を持った対応に取り組んでいる。																			16	
41	□	【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】BCP策定を実施する。										9		11		13	13.1			16		
42	□	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	会社の中核を担える人材育成を行っている。事業承継についてのあらゆる可能性を検討し、より良い形での承継を計画している。									8	9									17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）